

過去の世界へタイムスリップ！ 科学博物館特別展「タイムトラベル化石ツアー」

この夏、世界各地から発見された化石が科学博物館にやってきます！
一足早く、この特別展で展示される化石を、いくつかご紹介しましょう。

恐竜「トリケラトプス」(富山初公開！)

特別展会場の真ん中には、およそ7000万年前に生きていたトリケラトプスの^{こっかくひょうほん}骨格標本(レプリカ)を展示します。レプリカといえども、このような^{ぜんしんこっかく}全身骨格を^{かんさつ}観察できる機会はとても貴重です。トリケラトプスは額に2本、鼻先に1本、あわせて3本の角と、えりかざりをもつ大きな頭が^{とくちょう}特徴です。6メートル以上もあるこの標本をみて、その大きさを実感してください！



トリケラトプス

恐竜時代の海に生きていたアンモナイト



アンモナイト

アンモナイトは主に中生代の海で^{はんえい}繁栄した^{とうそく}頭足類(イカ・タコのなかま)で、1万種以上の化石が発見されています。グルグルと巻いた^{から}殻をもつアンモナイト化石のほかに、変わった形の殻をもつアンモナイト、宝石のように^{あざ}鮮やかな赤色や緑色をした^{から}殻をもつアンモナイト化石も展示します。

この他にも、角や棘のある^{とげ}奇妙な姿をした^{きみょう}「三葉虫」、史上最大の鳥ともいわれる「エピオルニス」の骨格標本(レプリカ)、そして私たちの住む富山で発見された化石も数多く展示します。世界から、そして富山から発見された化石が大集合する特別展「タイムトラベル化石ツアー」を、ぜひ見に来てくださいね！

(2008年7月 田中 豊)



エピオルニス